

自昭和十九年十月一日  
至昭和十九年十月三十一日

# 陣中日誌

24006

獨立混成第十五聯隊第三大隊配屬  
聯隊砲小队

十月一日  
伊江島國民  
學校

前日度ニ引續キテ飛行場作業ニ去場人員ハ隊長以下ニ六名  
九名ト下業終了ニシテ飛行場長則チ不リ要旨及ビ如シ

「飛行場建設作業ニ于テ是通リ完成ニシテハ  
軍作戦ニ親ク又國土防衛上見テ甚ク遺憾ハク次第ニ此東洋ノ  
飛行場ヲ擁シテ重ク任務ヲ負ヒ重且ク入テ事ヲ済シ銘肝ニ警備ニ不

全期ニ約十五分間  
午後五時被服ノ手入 不不負領ノ多杉本七段一三ニテ球頭ノ

不勤勤務者餘不和不即 週着前日長長・練休 内口ニ等テ

一七〇〇ノ隊員以下七名本部帰還ス  
必要ナル命令ヲシ

○終末

十月二日  
伊江島國民  
學校

飛行場建設作業終了ニ付 午前中五時ノ入午夜休養

伊江島命令第五七號

一七〇〇 伊江島

一各隊ハ十月廿日午前中至春検査ヲ實施シ其ノ結果ヲ同日十四時迄ニ大隊長ニ報告スヘシ

二十月廿日十時ヨリ聯隊兵器検査ヲ實施スル各隊ハ之ガ準備ニ遺憾ナキ期メシ(配屬部隊ヲ除ク)配列ノ場所ヲ刻字ノ間ニシテ兵器係ヲ指

示セシム

三十月廿日ヨリ日課時限ヲ左ノ通り變更ス

起床日朝長時 六〇〇

朝 食 七〇〇

診 断 八〇〇

昼 食 一二〇〇

會 報 一三〇〇

夕 食 一八〇〇

日夕更時 二〇三〇

消 燈 二二〇〇

四衛兵交代ハ明ニヨリ當分ノ間八時トス

○午前兵器被服ノ手入 午後休養

材木運搬ノ使役 七〇〇ヨリ二二〇〇迄 杉本兵長以下五名

△ 一五〇〇ヨリ一七〇〇迄 橋本兵長以下五名

通不前日兵長 練休 内田上等兵

○必要ナル命令ナシ

○(添付)

○九〇〇ヨリ小隊兵器検査一三〇〇終了

全般ニ手入良好ナルモ細部ノ點ニ於テ不充分又ス(シロ)初ノ注意シテ

ナヤ切介アリ注意セラヌ

一五〇〇ヨリ部隊將兵全員ニ對シテ隊長訓示アリ要旨次ノ如シ

百三十一  
大禮  
伊三島國又  
學校

十月廿日  
水原一  
伊三島國長  
學校

飛行場連日設作業を終り、諸部隊集結せし付、益々軍紀を厳正ニシ、團結し、軍団ニシ任務ニ邁進ス。

次ニ要望事項頂トシテ、生水ノ飲用禁止。

ニ 民家主入ノ禁止

○ 必要ナル命令ナシ

○ 現在人員 將校一、下士官四、兵三〇。

○ 發令

○ 八〇〇リ兵器ノ手入、聯隊兵器檢査室員施マシムルニ付、受取檢査ノ備ヲナス。一四〇〇リ三〇分間檢査

○ 必要ナル命令ナシ

○ 現在人員 將校一、下士官四、兵三〇。

○ 發令

十月六日  
金曜日 風晴  
伊江島國民學校

○ 七〇〇リ通信班第一分隊伊江城山陣地待避處作業觀測班第三分隊西江上柳落東北地區陣地待避處作業一三〇終了。一三三〇午前同様一七三〇終了。二場人員ト隊長以下三二名廻看。前日午後、練休内日上。半兵、西島一、半兵。

○ 必要ナル命令ナシ

○ 現在人員 將校一、下士官四、兵三〇。計三五名

○ 發令

○ 七〇〇リ前日同様一七三〇終了

○ 勤務奉任隊ニ五名参加

○ 伊西作命令第二八號 伊江島

○ 伊江島地區隊命令

一本、戰歴十月九日ヨリ五泊六日ノ豫定ヲ以テ兵器積積到參加至即

十月七日  
土曜日 風晴  
伊江島國民學校

西朝市附近ニ本攻ス

陸軍大尉

諸江春美

本職不在間地區隊長代理ヲ命ス

現在人員 將校一 下士官四 兵三〇 計三五名

〇七〇ヨリ各分隊前日同様一二三ヨリニ分隊待避壕ニ集ルマ

イト六發使用 午後 休養

伊西作命 第二九號 十月八日 島

一 マリア方面ニ策動敵機動部隊ハ空襲スルハ公算大ナリ

軍ハ南西諸島各地ニ對シ丙第戰備ヲ下令セラル

ニ 地區隊ハ沿岸部隊及對空射撃司令部隊ヲ配備シ海上ニ對シ

ニ對シ警戒戒嚴シニシテクヲ陣地附近ニ疎開シ嚴密ニ我が配備

及兵力ヲ必留シ我南ヲ控ヘ作並ニ訓練ニ當ラシ

十月八日  
日曜日  
伊三島國民  
學校

乙 戰備ニ轉移ニ準備セトス

三 各隊ハ伊西作命 第三號ニ基キ左記人員ヲ現在地ニ配置シ分隊ヲ

實施ス

左記

一 各隊指揮班

二 一般中隊約三分一

三 第三機關銃中隊二分一

四 偵察隊 約三分一

細部ニ関シ各隊長指テス

四 對空射撃部隊トシテ九ノ如ク服裝セムヘシ

一般中隊 一ヶ小隊

機關銃中隊 一ヶ小隊

射撃開始時機ハ中隊長命令スヘシ

五 前記派遣部隊ハ半洞窟家屋ニ攻テ入幕營トス

尚爆藥糧秣集積ノ陣地附近ノ民家ヲ使用スルヲ得

六、各隊ハ各自個人裝束備シ完備シ手榴彈ニ發シ小銃彈一ニ輕機一銃ニ付四八〇重機一銃ニ付四〇連ヲ使用シ得ル如ク準備シヤルヘシ爾余ハ

各隊長決定スシ

七、衛兵●ハ現任務ヲ續行シ特ニ封定監視並諸警戒報ノ連絡ニ遺憾ナカラシムヘシ

八、各隊ハ本八日十五時迄ニ本部ニ傳令一ヲ差出シ連絡ニ任シヤルヘシ服裝ハ完全式裝トス

九、各隊ハ燈火管制ニ遺憾ナカラシムヘシ

各隊長ハ附近民家ノ之ヲ指導監督ニ任スヘシ

十、防護給水班ハ各隊長ト連絡豫メ指示ニ應ジ基キ給水ニ任スヘシ

十一、給與其他ハ從來通りトス

○現在人員 將校一 下士官四 兵三〇 計三五名

十月九日  
伊江島國民學校

○七、三本部方向ヨリ敵戰爆連合ニハ機伊江島ハ米龍衣空襲警

報發令直ニ各分隊待避スヘシ第一分隊伊江島西側陣地第一分

隊西上部落北岸陣地ヲ待避スヘシ 觀測通信班ハ二分ニ各分隊ニ

既屬 第三分隊待避ノ途甲七五陣地前ヨリ米道路上於テ機

銃掃射ヲ受ル之損傷ナシ 通信班ハ爆擊ノ間斷ヲ利用シ分隊間

ニ無線網構成スルヲ了ス 七、五第一回ハ爆擊ヲ終ル

八、三、五通リ發令ナリ

○七、三本部方向ヨリ敵戰爆連合ニハ機伊江島ハ米龍衣空襲警

報發令直ニ各分隊待避スヘシ第一分隊伊江島西側陣地第一分

隊西上部落北岸陣地ヲ待避スヘシ 觀測通信班ハ二分ニ各分隊ニ

既屬 第三分隊待避ノ途甲七五陣地前ヨリ米道路上於テ機

銃掃射ヲ受ル之損傷ナシ 通信班ハ爆擊ノ間斷ヲ利用シ分隊間

ニ無線網構成スルヲ了ス 七、五第一回ハ爆擊ヲ終ル

八、三、五通リ發令ナリ

十月十日  
大塚時  
伊江島國民學校

伊西作命 第三部 伊島 敵司令部

敵機ハ主トシテ飛行南ノ文撃テ、飯場ハ被弾全焼ス

第三回自爆撃 九ヨリ一五機 第二回二三ヨリ一二機 第四回

一五ヨリ一四機 敵機未裝束トシテ飛行場ヲ攻撃セシ一部ハ

伊島國民學校 役場ヲ機銃掃射ス、一四ヨリ廣瀬軍曹

等五名第五所倉庫ヲ榴弾七五箱交領 運搬中一五ヨリ同

彈薬庫前道路ニ在リテ機銃掃射ヲ受テモ機銃ヲシ 一五ヨリ以

降ハ敵機、空襲表見シ

來敵機ハ敵機、續成 爲備 未所見等ハ次ノ如シ

戦闘機、主力トシテ爆撃ヲ機ヲ令ニ乃至四機掃隊ミテ一四機

閉鎖 一三ヨリ機銃掃射 水雷艦 爆弾ハ二ヨリ一五ヨリニヨリ

ノ使用 一機天海ニシテ使用ス 重量ハ明ラサズレ共、我方、

低抗機、爲相當 爲敵ノ行動ス、又建築物、射シテ受テ機

撃墜 敵機、掃隊 掃隊、掃隊、掃隊

又急降下レシ昇時、本部ヨリ射撃ス

敵機ハ主トシテ飛行場ヲ終始攻撃 時限爆弾ヲ使用セシ、如ク

爆撃後敵機ノ間ニテ爆撃音ヲ聞ク 本部ノ向ニ於テ、白江島空

襲後ニ引續ク爆撃ヲ行ハシメ、起シテ、敵機、爆弾ノ

爆撃音ヲ送、聞ク、一六ヨリ以降、第八分隊全員ヲ彈薬搬送

引續ク夜間、警戒ニ入ル

一八ヨリ守備隊長注意事項頒發セル

夜間ニ入ル同時ニ各分隊國民學校ヨリ陣地へ個人装具ノ搬送

並ニ武装ノ完備ヲス、一九ヨリ前日兵長以下五名(國民學校及三)

大隊本部ヲ)ガソリシ爆四下不受領(履キ)同時中村上等兵以下

二名本部青不單曹、指テ受ケガソリシ朝達ノ勤務夫トシテ發

三ヨリ部隊ガソリシ(五)下五名ヲ受領ス、二二ヨリ、大川上等兵以下

十名第五部 第七部 倉庫ヲ 榴弾四六。發シテ六。發。小銃

彈ニ三四發ヲ指彈ハ。發受領運搬開始スニ四ノ。炊事  
ヨリ乾パンニ箱受領ス

伊守作命第三。跡 百ノ。八ノ。三ノ。 伊江島戰闘指令所

一本朝七年。三分敵戰爆連合約ニ八機ヲ朝本島ヲ爆撃シテ後  
伊江島ヲ空襲セリ

二部隊ハ甲彈戰備ヲ實施ス

三部隊ハ戰闘配備ニテ隨時戰闘ヲ開始シ得ル如ク準備ヲ整テ  
ルト共ニ極力完全ニ秘匿セル處置ヲ講ジテ後ニ事ノ進捗ヲ圖ラン  
トス

四各隊ハ前項ニ基キ對空及地上捜査ノ處置ヲ講スヘシ

五爾後對空射撃ニ関シテハ必整ヲ確信シ得ル際ニ限り射撃ニ極力

彈藥ノ節用ニ努ムヘシ

六各隊ハ第一夜空襲被テ於テ諸報告ヲ提出スヘシ

七本書食ハ馬場中ノ糧乙ニ依ルヘシ

八爾後命令受領者ヲ戰闘指令所ニ常時差送シテヘシ  
九余ハ戰闘指令所ニテリ

地區隊長代理 諸 江 大尉

西作命第三ニ辨 伊江島戰闘指令所

地區隊命令

一齊に隊衛生却見習士官以下五名ハ田村部隊負傷者收容援助ヲ  
直ニ同部隊ニ赴クニ歸隊ノ時刻ハ別命ス

地區隊長代理 諸 江 大尉

守備隊長注書ニ事渡 伊江島戰闘指令所

各隊ハ逐次戰闘準備ク完成ヲ圖ヘシ

ノガソリン罐ノ準備

二彈藥ノ分配ヲ完了

三肉攻用爆藥ノ準備

四式表ノ完備



- 5. 連絡手段ノ確保
- 6. 夜間射撃設備準備
- 7. 警戒兵ノ配置
- 8. 障礙物資材ノ配置

其ノ他

二 本夜中ニハ一個ノ割リシヨク重ヲ定メスニ  
 三 情報ノ速報(王民ノ言)警戒兵ノ回響即隊相互間ノ通報ニ依リ得  
 タルモノ以上ハ充分ニ審査シテ後判決ヲ浴ヘテ提モスニ  
 四 夜間ト雖モ敵機ノ空襲ヲ考慮セシムニ付速報ノ行動續多指揮  
 官ノ適確シテ命令ニ依テナサニハト 尚餘艦砲射撃ニ對シテモ不覺テ  
 取ル如ク事ヲ極力充分留意ナト  
 五 民間協力部隊ハ今夜中ニ夫々隊メ指テマシタル所ニ於テ配屬スル  
 予定

大地方人ハ各々各面ノ家屋附近ニテ防空要ヲ設テ待避セシムル事

ノコト(一部動搖ノ結果海軍附近同様に避難セシムル有リ) 將率ノ  
 戦斗ノチ想シテ進出スル

七 挺身隊等及我隊ノ隊行演習又ハ幹部教育ノ實施スヘシ

○ 受領彈藥總數

榴彈 六一〇發      シタン六〇發      小銃彈 二三四發

手榴彈 八〇發

○ 射撃彈 ナシ      一死傷 ナシ

○ 現在人員 將校 一 下士官 四 兵 三〇      計 三五



○ (四〇〇) 前日引續テ各分隊受領セル彈藥ヲ陣地並ニ陣地附近及  
 二搬送ス一隊ノ一部ガソリニ壞レ作敗四〇〇兩者終リ二分隊直ニ  
 陣地構築一分隊一部應援六〇應援者分隊復原七〇期食  
 八〇〇一隊待遊度ニ事ニ分隊陣地構築二二三終リ

十月十一日  
 水曜日 晴  
 伊豆嶺山第一  
 分隊陣地

一三三〇時前同様一八〇〇終了各分隊一九〇〇時二二〇〇時陣地構築  
〇西作命令第三十三號 伊江島戦闘指令

地區隊命令

一 地區隊ハ夜間命令其下付衛担任區域内ノ構築ヲ尤モ要領ニ依リ調査スルシ

ノ地方側人員ノ被害

ニ 民家其他ノ被害状況

ヨ 一般人心ノ動向

二 各隊將校以下之言一兵ニテ以前記要項ヲ別ニ号ニ區域ニ就テ調査シ十八時迄ニ報告スルシ

地區隊長入理 緒江大尉

十月十二日  
木曜日晴  
伊江島山麓第一  
分隊陣地

〇四三〇時西作命令第三十三號發令

五三〇時空襲被害報告發令 全員起床 敵機來襲ヲクモリ朝食

八〇〇〇時第一分隊待避壕ニ事 第二分隊砲陣地ニ待避壕ニ至リ

一二〇〇時終了 觀測班ハニニ隊陣地西側ノ陣地構築第一二〇〇時ニ至リ

四發使用一二三五隊作命令第三十三號 守日命令達

一三〇〇時 伊西作命令第三十四號發令

一三三〇時一分隊一部ヲニ分隊陣地ヲ構築 一四〇發搬送殘部ヲ

待避壕ニ事 二分隊砲陣地ニ待避壕ニ事 一五〇〇時イイト六發發

使用一八〇〇時終了夕會ニ後一九三〇時各分隊晝間同様ニ事

二二〇〇時終了

〇西作命令第三十三號 伊江島戰闘指令

地區隊命令

一 軍中ノ通報ニ依リハ合灣ノ百度五〇打ノ敵機動部隊接近ス  
十一日三三時十分第三航空艦隊夜間戰闘指令ハ夜間戰闘指令ニ支取

中ニテ十月十日未裝之敵機動部隊一旦南下ニテ再ニ北上本朝本島ニ來襲スルニト確信ナリ

二部隊ハ直ニ配備ニテ對空戦闘準備ヲ完成ス

三各隊ハ人員兵器糧秣燃料等ヲ壕内ニ遮蔽秘密ニシテ彈砲及

射撃部隊ヲ偽裝ヲ徹底的ニシテ一人一銃一物ノ損耗ヲ絶對ニ

防止スル共ニ敵來襲夜ニ當リハ必墜ヲ確信シ得ル距離以内ニ於テノ

射撃ヲ實施シ敵ヲ撃退スル

四昼間ノ行動ヲ一般ニ禁止ス之ガ多ク概テ諸準備ヲ一時停止スルニ

ノリス  
地區隊長代理 諸江大尉

独混四四旅作命第五四號要旨 十月十日 伊江島戰術司令所

一敵機動艦隊ハ十月二時頃伊江島南大約二〇〇軒ヲ西進シ七三〇

公尺灣ニ定着開砲

機動ニシテ後本十〇ノ敵機動艦隊ヲ攻撃スルニ付

二伊江島地區隊ハ同飛行場ノ補修ニ関シ航空ニ協力をシ

西作命第三十四號 十月十日 伊江島戰術司令所

地區隊命令

一独混四四旅作命第五四號要旨ニ基テ地區隊ハ飛行場ノ補修ニ協力ス

依テ各隊ハ左記ノ通り十三時三十分迄ニ戰術指令所前ニ集會スル

記  
第七八九中隊各四〇名

第三中隊 二〇名

獨之連射撃隊 三〇名

獨之機關銃隊 三五名

二兵隊 二〇名

二各隊專任先將校指揮ノミトニ殘余ノ人員ヲ以テ警戒班作業ヲ兼

施スル

三、第三機関銃八二銃 独立機関銃八四銃ヲ作業場ニ移行シ射撃ニ任ス

地區隊長代理 諸 江 大尉

○現在人員 將校一、下士官四、兵二〇 計三五名

十月十三日  
金曜日 晴  
伊江成山第一  
分隊陣地

○七三ヨリ第一分隊伊江成山陣地待避壕工事 観測班第三分隊西  
上部落東北地區陣地及待避壕工事一三〇〇終了一二〇〇観測ニ發  
第二分隊十五發ライフルト使用

一三、二〇ヨリ午前同様一四〇〇空襲警報解除一八〇〇作業終了  
○必要セル命令ハシテ

○現在人員 將校一、下士官一、兵六三〇 計三五名

鴻崎一三兵陣地内ニ三〇〇連隊兵トテ勤務中ノ石一遺キ倒テ隊下  
後トテ行倒難ヨリ木表ニシテ

十月十四日  
土曜日 晴  
伊江成山第一  
分隊陣地

五、〇ヨリ各分隊前日同様一二〇〇終了一二〇〇観測ニ發一三〇〇観  
測ニ發一分隊ニ發ライフルト使用 早朝一友軍機ヲ殺シ伊江島

上空ニ飛来ス 一三三〇ヨリ午前同様一八〇〇終了 本朝一聯隊

本部移駐スニシテ中隊本部ヲ司令部帯以下五名先發トシテ  
米島ニ在リテ明日五〇來島ス

○伊西作命令第三十五號 十月十四日 六六三〇  
本朝ハ

地區隊長令

一、台湾石垣島方面ニ在リテ十月十二日以降敵機動部隊次第中ナリ

海軍航空隊戰艦連合機約百餘機今十四日八時頃伊江島ニ到着

ニ燃料ヲ補給シ受テ台湾方面ニ移動スルヲ定ム

二、地區隊一部ノ兵力ヲ飛行場ニ派遣シテ飛行場大隊ニ協力シ燃料ノ  
補給作業ニ任セントス

三、本部及各隊ハ約三分ノ一兵力ヲ飛行場ニ派遣シ燃料ノ補給ニ  
協力セントス

四 大隊機関銃中隊又独立機関銃中隊の防空射撃部隊の飛行場

上余七時中飛行場在リ

西作命 第三十六師 十月十日 伊江島 投付可

一 備及軍要道に敵の上陸企圖濃厚をモシ如シ

本島に於て守備兵力増強ノミテ聯隊長ノ指揮ニ約テ大隊本夕刻

伊江島に到着スルヲ以テ

二 地味隊の一部ヲ以テ聯隊長カ、二陸援護宿營地ヲ備テ責任セシトス

三 間井中隊ハ大隊機関銃一ノヲ隊及独立機関銃一ノヲ隊及第九中隊

ノヲ隊ヲ併テ指揮シ且波止場附近ニ於テ防空援護ニ任スルシ

各隊、該兵クマニシテ且波止場附近ニ派遣シ間井中隊ノ指

揮下ニ入ルシ

四 大隊本部 第七中隊 陸之連射隊 各下ニ任シテ

備及軍要道ニシテ敵ノ上陸企圖濃厚ニシテ

オスルシ

八 隊副官ハ該人員ヲ指揮シ聯隊長カ宿營地ヲ準備スル

地区隊長 西村 大尉

十月十日  
日曜日 晴

伊江島第一  
分隊驻地

○ 中隊主力未島ス、伊江島國民学校校コナリト兵舎ニ宿營ス

七、三ノヲ隊分隊前日同様作業大ニ觀測班タイエイトニ發使用

一、二、三ノヲ隊一三、三ノヲ隊同様に一五、三ニ合隊タイエイトニ發使用

一、八、〇〇終了、勤務奉仕隊一四名参加、鴻崎一等兵、内日上呈止ム

練休

○ 獨混一五作命 第五六師 伊江島

一、十月十日以來一却ヲ以テ南西諸島主力ヲ以テ台湾ニ未襲ルニ有力

ニ敵ノ機動部隊ハ皇軍ノ猛攻ニ依リ潰滅的打撃ヲ受ル東方

ニ進走中ニ我軍ハ之ヲ封シ戦果廣大ナリ

軍令一五〇一九三〇四陣戦備ヲ解ク

二 四區隊の一部ヲ以テ飛行場大隊ノ飛行場整備作業ニ協力スル  
ホニニカハ依然陣地構築ヲ促進セシム

三 各隊の一部ヲ以テ防空監視ニ任ゼシメ防空射撃部隊之ヲ敵シ遊  
時對空射撃士ヲ移行シ得ル能クシテ陣地構築ヲ促進ヲ計ル

四 第一大隊及二兵中隊主力ハ明十六日以降 飛行場大隊ノ飛行場  
整備作業ニ協力スル

五 實施細部ニ関シテ飛行場大隊長ノ指示スルニ  
之ヲ飛行場大隊長ノ飛行場整備作業ニ協力スル第一大隊各  
中隊及二兵中隊ニ對シテ徵用有各一〇名ヲ配屬セシム

六 二機余ノ諸隊ノ前任務ヲ履行シ 戰備ノ完整ヲ促進スルニ  
七 余ハ伊江村役場ニシテ

伊江村役場長 美 日 大 佐

十月十六日  
月曜 晴  
伊江或山第一  
分隊陣地

〇七三三ノ第一分隊伊江或山陣地待避處及待避處前ノ新砲陣地工事  
着手 第三分隊觀測班前同様一ノ〇日終了 一ニ二ノ第一分隊イ  
ト使用 内田幸夫 臨時一等兵 總休

〇 獨混五作令 第五七陣 伊江或山  
伊江或山第一分隊命令

一 今般長モ待從武官伊島文雄中將ヲ第三軍ノ狀況處理多  
十月十六日 御差遣スルナリ

軍令石ニ伴ヒテ三式ヲ強化スル爲ニ西陣戦備ヲ下令ス  
二 四區隊ノ西陣戦備ニ移行シ防空射撃隊ニ至敵ニ至敵スルニシテ

三 第一大隊第三大隊各々對空射撃隊ヲ至敵ニ至敵スルニシテ  
伊江島南西海面 第三大隊ノ同東北海面ノ對空射撃隊ヲ至敵スルニ

四 爾今ノ諸隊ノ現任務ヲ履行スルニ  
五 予ハ伊江村役場ニシテ

伊江島地區隊長 美田大佐  
現在人員 將校一 下士官四 兵三 計三三名

十月十七日  
大體晴  
伊江島第一  
分隊陣地

○七、三〇、第一分隊前日同様第二分隊即チセト、砂、石搬送  
一部陣地工事一三三〇空襲夜警報發令一五〇〇解除  
引續工作業一八〇〇終了 去場人員一隊長以下三三名  
○必要人員命令一三三〇  
○現在人員 將校一 下士官四 兵三〇 計三三名

十月十八日  
水曜日  
伊江島第一  
分隊陣地

○八、〇〇、各分隊前日同様一八〇〇終了 糧秣運搬勤務兵  
久保田上等兵以下四名 大隊本部勤務方夫 風雨一子兵 練成訓練  
作士大 二〇〇、八〇、十隊長以下一三三名

十月十九日  
不雨  
伊江島第一  
分隊陣地

○必要人員命令一三三〇  
○現在人員 將校一 下士官四 兵三〇 計三三名  
○八、〇〇、各分隊前日同様一八〇〇終了  
○西作命令第一號 伊江島第一  
伊江島地區隊長  
一聯隊主力部隊第二編隊二伴二大隊司令部海軍部知事伊  
江島地區隊下士官部隊の復故セシム  
二各隊八十月一日西作命令第一號第一聯隊司令部伊江島  
地區隊長 西村大 副  
編隊十五作命令第二工號 伊江島  
伊江島地區隊長  
一聯隊、被團、命令、其、伊江島地區隊長、任務、遂行、中、

隊(既屬部隊、元々知シニ轉讓シ、舊態ニ努メ復原セントス)

二、首任江島地區隊長、上州任格ヲ續行スル

三、第五〇飛行場大隊、十月十九日(一)ニ降参、指揮ヲ脱シ、前任格ヲ續行スル

四、本部及第一大隊、独立各中隊ハ、各番彈藥糧林資材、共ニ二十日以降、任江島ヲ發シ、人員及器材搭載俾ノ指示ニ依リ、舊營地附近ニ復歸シ、前任格ヲ續行スル

五、石井少尉ハ、人員及馬匹搭載俾ノ指示ニ依リ、時節降ト協定シ、任江島橋、橋ヲケル人員馬匹ニ搭載ニ任スル

六、枚原一尉ハ、荷物搭載ニ任シ、陸地隊ハ、協定ニ依リ、逐次到着スル荷物ヲ搬送ニ任スル

武藤少尉ハ、渡久地降参ニ依リ、器材搭載俾ノ指示ニ依リ、協定ニ依リ、逐次到着スル荷物ヲ搬送ニ任スル

人員ヲ指揮シ、材料資材ヲ逐次運送スル地附近ニ搬送スル

八、各隊、舊營地附近ニ復原シ、人員ヲ本十九日(一)〇、伊江島橋、

九、二十日、伊江島ヲ發シ、先ニ渡久地(國民學校)ニ至ル

伊江島地區隊長 美田大佐

〇、現在人員 將校一、下士四、兵三、計三五名

〇、八〇〇〇、本分隊、伊江島、陣地待、海軍、工、事、一、八〇〇、終了

〇、現在人員 將校一、下士四、兵三、計三五名

〇、現在人員 將校一、下士四、兵三、計三五名

十月三日  
午後四時  
甲六城山第一  
分隊陣地



十月三日  
土曜  
伊江島山南麓  
儀間徳助方

ロハ... 今合隊前日同様一八〇〇終了 去勢更 力隊長以下  
三三名 勤芳春佐隊 王丞 参知 本目 了 力隊長 并合隊 伊江島  
麓南側 儀間徳助方 玉成 蒲太方 大成 徳助方 二八 分宿  
観測 第三分隊 八〇〇 西上部 若落東北地区 陣地 倒山城 武一方  
金成 長先方 分宿 要圖 註 人員 足 如シ



① 鈴不少尉 原 藤 守 中 佐 佐 佐 佐  
 松本 方 治 全 子 前 任 儀 間 徳 助 方 氏 今 子 又 言 渡 部 正 次  
 乙 橋 本 雪 正 佐 藤 政 八 郎 須 田 晋 二 志 松 幸 平 飯 原 俊  
 丙 前 田 孝 幸 山 村 渡 内 田 義 信 渡 邊 道 好 久 保 田 節  
 丁 大 川 仁 長 里 野 光 太 郎 鈴 不 和 太 郎 滝 辰 夫 秋 山 襄  
 五 石 川 伍 長 杉 本 教 雄 福 屋 昇 山 原 守 治 板 山 恭 久  
 吉 川 節 海 岩 井 清 今 井 千 衛 風 岡 新 一 池 村 正 平  
 橋 本 美 男 西 原 隆 一  
 ○ 西 作 命 第 四 二 号 伊 江 島  
 伊 江 島 地 區 隊 命 令  
 一 在 及 米 空 軍 八 七 島 方 面 機 動 初 隊 三 呼 應 シ 二 日 台 渡 又 本 上  
 爆 撃 等 ヲ 企 圖 シ 各 基 地 於 下 池 備 シ ア ン ト ン せ シ  
 三 地 區 隊 八 對 空 警 戒 ヲ 嚴 十 ラ メ ン ト ス

三、對空射擊部隊八直上座に得ルカヤリ又各隊ハ待避に得ルカヤリ  
備シアルヘシ

四、井上中尉ハ明三二日以降三兵カ隊ノ約半數ヲ以テ當分間第九中  
隊左小隊ノ陣地構築ニ協力スベシ

五、各隊ハ爆藥ノ掩蔽處選別シ地區隊長ハ明三二日迄ニ  
報告スベシ

六、明三二日伊江城山前面ノ防禦戰闘ニ關シ地區隊長統帥下  
ノ下ニ幹部現地教習ヲ實施ス俟テ左記ノ者ハ九日迄ニ伊江城  
山南麓三又路ニ集結スベシ

左記

一、第七中隊長

第六中隊長

独機隊長

独機隊長

二、第七、第八、独機、独連ノ各隊ハ關係分隊長命令ニ  
地區隊長 西 日 大 尉

三、現在人員 將校一 下士四 兵三 計三五名

○八日ヨリ各分隊前日同様一八時終了 土曜更ニ隊長以下三二名  
勤務奉仕隊一六名參加

○西作命ノ第四班 伊江島

伊江島地區隊命令

一、燈台何道ヲたカソシテ戰術ノ研究演習ヲ土月初旬ニ實施ス予定  
シテ又教ノ如ク之ニ準備並研究先至ルヲ命ス

左記

委員長 諸江大尉

委員 関井中尉

十月十一日  
晴  
伊江島南麓  
鐵岡方



一〇、一、南西空襲報告

ニ九記研究問題ヲ明テムリ會報時ニ提出相成度

左記

ハ他艦隊ノ平領

一、敵艦隊ノ平領ヲ目的トスル場合

小兵力ヲ以テスルニシテ實兵ヲ用ヒ研究ノ結果ヲ綜合判決

スルモノトス

二、決戦目的トスル場合

敵艦隊ノ平領下ニ於テ火氣威カヲ併用スル強襲ノ平領ニシテ

中隊長以上(又將校)ニ課題シ部隊毎ニ綜合判決ヲ求ム

提出スルモノトス

三、對敵艦隊ノ襲撃

敵艦隊ノ襲撃ニ用テ用施設ヲ以テ行軍本隊兵ヲ運用ス

十月二十五日  
水曜日 晴  
伊予島南麓  
俄間方

〇八〇〇リ前日同様一八〇終了 本隊員十隊長以下三三名

第一分隊 第二待避隊 直進シ 勤勞奉仕隊十二名参加

〇西作命 第四陣

伊江島地區隊命令

一、西部地區、本日大時三分空襲警報発令セシム

支那方面ヲ敵機伊江島ヲ空襲スルノ公算大ナリ

二、地區隊、對空警報ヲ嚴シ陣地構築作業ヲ續行セトス

三、各隊、宿舎内ニ在リ兵隊資材被服等ニ他物置ノ分散疎開ヲ實施シ所屬

一、警備隊兵ヲ附ヘン

右諸施設、軍士及ヲ兼テ使用企圖下ニ利用スル付現ニ使用ラントテ理由

トシテ本部隊ニ右ヲ運出撤去使用テ如キ事ヲ極嚴重ニ注意スル要ス

〇現在合衆 昨夜一 下五三四 五三〇 計三三三名

十月二十一日  
本曜日 晴  
伊江城山南麓  
候間方

四本即及分隊、對空監視ヲ嚴シク作業中敵機ノ空襲アリモ迅速ニ疎開シ  
得ル如ク予行ヲ實施スル尚予ヲ指示スル對空射擊部隊ヲ直ニ配置シラセム  
之、余ハ伊江城山南麓ニテリ

地區隊長

西村大尉

○現在人員 將校一 下士官四 兵三〇 計三五名

○南西諸島一七三〇警戒警報解除

○發木

○八〇〇〇〇前日同標出場人員小隊長以下二九名前日隊長以下四名旧波止場

地中車一八〇〇終了 本隊人員 十隊長以下二三名

勤務奉仕隊 九名參加

○西作命一第四五號 一六〇〇 一六〇〇

一假之機関銃隊長ハ機関銃一合隊ヲ兼テ中隊長ニ取替メ其ノ自  
揮下ニ入ラシムル

第七中隊隊長ハ該機関銃合隊ヲ山田小隊長ニ配屬スル

地區隊長 西村大尉

○現在人員 將校一 下士官四 兵三〇 計三五名

十月二十日  
全曜日 晴  
伊江城山南麓  
候間方

○八〇〇〇〇前日同標出場人員小隊長以下二九名前日隊長以下四名旧波止場

可受領者 材木〇本等分隊及第一分隊陣地ハ搬送一八〇〇終了

勤務奉仕隊 四名參加

○必降ル命令ナシ

○現在人員 將校一 下士官四 兵三〇 計三五名

○發木

○八〇〇〇〇前日同標出場人員小隊長以下二三名一〇〇〇〇〇小隊長約一時間予  
定テ大隊長ニ從行伊江城山東側地區陣地偵察作業一八〇〇終了

十月二十日  
土曜日前後晴  
伊江城山南麓  
候間方

○西日命第七〇號

一 本職 自十月二十九日 三泊四日ノ予定ヲ以テニ號席日見字ノ多那野明市  
附近ニ出張ス

二 陸軍大尉 諸 江 春 夫

本職出張不在間地區隊長代理ヲ命ズ

地區隊長 西 村 大 尉

○現在人員 將校一、下士百四、兵三〇、計三五名

十月二十九日 晴  
任江敷山南麓  
俣間六

○七四〇ヨリ各分隊約一時間半ヲ予定シ射撃ヲ行演習後兵格被服ノ  
手入一六〇ヲ材不入八拾〇ニ減シ受領ノ爲廣瀬瀬軍曹以下六名旧被  
止場ハ一七〇〇終ラズ

○必中ナル命令ナシ  
○現在人員 將校一、下士百四、兵三〇、計三五名

十月三十日 晴  
伊豆山南麓  
俣間六

○八〇〇ヨリ第一分隊伊豆山南麓地區第三分隊親到班西上郡北東北地區陣地ニ奉  
久保田上草上以下四名前日受領セル材木運搬ノ勤務

中隊長 廣瀬軍曹一、二、三ヨリ伊豆山南麓地區創新陣地地位直注撥成所  
彈薬 糧秣買場 決定ノ爲陣地偵察一七三〇終了此ノ前前里長以  
下二名及位置開始ヲス、勤務奉仕隊四名参加

○西日命第七二號 甲、三〇、一六〇〇

一 日直注進軍將校ヲ通リ服務スヘシ

日直將校 巡査將校

一日 園井中尉 鈴木清中尉

二日 山寺中尉 川上中尉

三日 竹田中尉 山田中尉

四日 高橋中尉 三藤中尉

五日 諸江大尉 鈴木利中尉

六日 小川中尉 向山生中尉

十月十日  
大雁山前  
伊豆山前  
儀前才

七日 関井中尉

山下中尉

八日 山寺中尉

田澤中尉

九日 竹田中尉

栗石中尉

十日 高橋中尉

河合中尉

現在人員

將校一

下士官

兵三

計三五名

○八日 前日同様 一四時内田中尉等下四名波止場にて村木三本

受領ス 一三時終了 作事一八時終了 去場人員十隊長以下三名

○西作令第四六號

伊豆山前

一自十月十日 其謝燈台附近三枚中尉指導下下士官等戦術研究

習習實施ス 依テ各隊八名記人員ヲ明十日七時五分彼場前日集合セシ

ハレ

二

第七中隊 下士官一五名 第八中隊 第九中隊 兵三二名 正候補隊 和機 独連

工兵各一

第七中隊 下士官八名 人員經理室ヨリ馬車一ツ受領ス 上列各兵三

燈台ニ至テ放生中尉ノ指揮下ニ入ルニ 彼等軍裝ニテ月夜ヲ除ク

地區隊長代理 諸江大尉

現在人員

將校一

下士官四

兵三

計三五名